

かさい げんいん おも ぼう し たいさく
火災原因の主なものとその防止対策

ぼう か ばん ぜ
わが家の防火は万全ですか？

ぼう か
放火

防火させない環境づくり
家のまわりは明るくして
いつも整理整頓を！



家の周囲に燃えやすいものを置かない
ようにしましょう。
しゃこ・そうこ かざ
車庫・倉庫にいつも鍵をかけましょう。
家のまわりをあかるくしましょう。

たばこの火

灰皿には水を
入れて置きましょう。

寝たばこは絶対にやめましょう



寝たばこは絶対にやめましょう。
喫煙場所を決めておきましょう。
灰皿には水を入れておきましょう

りょうり
料理の火

そばも覆れる時は
火を消して



火を使って料理している時は、その場を離れ
ないようにしましょう。
コンロから離れる際は必ず火を消しましょう。

じゅうたくぼうか
**住宅防火は、
家族みんなの心がけと、
日々の実践が
ポイントです。**

『自分の家から火事を出さない。』
『自分たちの町から火事を出さない。』

たき火・火遊び

風の強い日の
たき火はやめましょう！

火あそびはぜったいにダメ！



風の強いときや危険なところでは、たき火をし
ないようにしましょう。

たき火をする時は消火用具を備えましょう。
子どもだけで花火はしない。

親子で火事の恐ろしさについて話しましょう。

コンセント



たこ足配線はしないようにしましょう。
ときどきプラグを確認して清掃しましょう。
電気コードをカーペットや家具などの下敷きに
しないようにしましょう。
コードを引っばって抜かないようにしましょう。
アイロンやドライヤーは使用后プラグを
抜きましょう。

ストーブ

ストーブをつける前に
燃えやすい物がそばに
ないかの確認を！



ストーブの周辺には燃えやすいものを置かない
ようにしましょう。

給油の際は必ず火を消しましょう。

外出・就寝の際は必ず消火確認しましょう。

じゅうたくぼうぼうさいきき そな
住宅用防災機器などを備えましょう！

防災品(カーテン、寝具など)

住宅用火災警報器

住宅用消火器

住宅用スプリンクラー設備

ひなんけいろ せいりせいとん
避難経路はいつも整理整頓しておきましょう。

まんがいち ひなん さいゆうせん
万が一のときは消火より避難を最優先することが大切です。

じっし ぼうか・ぼうさいくんれん さんか
町内会などで実施される防火・防災訓練に参加しましょう。

松山市消防局

家族みんなで
住まいの防火



ぼうか はじめましょうわが家の防火チェック

このチェック表は、家族みんなでご覧になって、ぜひ役立ててください。（子ども向け）

放 火	家のまわりに、ダンボールなどの燃えやすいものを置いていない。 ゴミは、指定日の決められた時間に出している。 放火されないかんきょうをつくりましょう！
タバコ	寝タバコや、くわえタバコはしていない。 吸い殻は、完全に消している。 はいざらは、あんでいせいのある大きいものを使用し、水を入れておきましょう！
天ぷら油	あげ物ちゅうに、その場を離れるときは、必ずコンロの火を消している。 天ぷら油のかねつに注意しましょう！（天ぷら油は、高温になると火種がなくても発火し燃え出します。）
コンロ	まわりには、燃えやすいものを置いていない。 コンロまわりの「せいりせいとん」を心がけましょう！
ストーブ	まわりには、燃えやすいものを置いていない。 石油ストーブは、必ず火を消してから給油している。 寝るときは、必ず火を消している。 外に出る前、ねる前の消し忘れに注意しましょう！
電 気	コードは、物の下敷きになったり、おれまがったりしていない。 タコ足配線はしていない。 コンセントのプラグにたまったほこりは、取り除いている。 コードやプラグは、ときどき熱を持っていないか点検しましょう！
火遊び	親子で火事の恐ろしさについて話し合ったことがある。 子どもに火の恐ろしさを教えましょう！

つうほう	119番 住所、目標などを正しく「つうほう」できますか？ いち早く近所の人にも知らせる！（「火事だ」と大声を出す。）
消 火	近くに消火できるものはありますか？ 消火器の使い方を知っていますか？ 火が小さいうちに消し止める！（火が大きくなれば、すぐ「ひなん」する。）
ひなん	通路や階段に、「ひなん」の障害となるものを置いていませんか？ いつも二つ以上の方向に「ひなん」できるよう気を配る！

チェックの結果・・・「レ」が？個

10個以上の家族	大丈夫。	あなたの家族は住宅防火意識の高い家族です。でも、チェックできなかった項目をもう一度、見直して、まさかの火災に備えましょう。
7～9個の家族	もう少し！	あなたの家族は住宅防火に関心があるようですね。ただ、火災は思わぬところから起こります。日々用心し、住宅用防災機器等を備えましょう。
4～6個の家族	ちょっと不安。	あなたの家族は住宅防火意識はまだ足りないようです。家族で防火について話し合ってみることが大切です。
3個以下の家族	注意して！	あなたの家族は住宅防火意識はちょっと低いようです。家族で話し合っ、すぐにでも防火対策を立ててみてくださいね。

火事と救急は119番